

現代社会に必要不可欠な車を 安全、安心に走らせる

創立以来、健全な車社会の発展に寄与

生産台数、販売台数が景気動向を大きく左右するほど戦後日本の自動車産業は飛躍的に発展しました。日本では7000万人以上が運転免許を保持していると言われています。交通安全にはドライバーのマナーはもちろん、自動車の正しい整備が非常に大事です。自動車の基本的な機能は走る、曲がる、止まるです。整備不良の自動車は法的に罰せられるだけでなく、ファンベルトのちょっとした緩み、ブレーキオイルのわずかな漏れ、エンジンの不調などが思わぬ大事故につながりかねません。自動車整備は高度な修理技術と共に、自動車に関する知識が必要です。

愛知県自動車整備振興会が創立したのは昭和26年の道路運送車両法が施行された年でした。以来、健全で安全な車社会の発展を車両整備の観点から支えてきました。

教育センターで最新の知識と技術を講習

自動車整備を行なうには自動車整備士（1級、2級、3級）の資格が必要です。愛知県自動車整備振興会



は昭和28年から自動車整備士養成施設の指定を受け、これまでに多くの自動車整備士を社会に送り出してきました。



自動車についての知識や修理技術は年々複雑になっています。例えば車体に使われる素材は鉄板からFRP、あるいはカーボン素材なども使われるようになってきました。より安全な車を目指し、エアバックを装着した車が当たり前になっています。電子制御部品などが使用される個所も増えています。さらにハイブリッド車や電気自動車なども普及し始めています。当然、低圧電気などの知識が必要になってきます。

こうした技術の進歩に合わせ、新しい知識と新しい技術を採り入れていかななくてはなりません。整備振興会は最新の知識と技術についての講習会を積極的に開催し、より安全な自動車の整備ができるよう取り組んでいます。講習会は小牧教育センターと三河教育センター（岡崎市）で行なっています。さらに、省資源、省エネ社会によるエコ社会を実現するため、修理の時に取り外した部品の再利用なども進めています。

DATA ■愛知県自動車整備振興会
所在地：昭和区滝子町30-16 自動車会館

- ・昭和26年：愛知県自動車整備振興会創立
- ・昭和28年：自動車整備士養成施設の指定
- ・平成2年：愛知県小型自動車整備振興会と合併